



広域防災局
令和5年1月26日

令和5年1月24日からの大雪への対応

令和5年1月24日からの大雪に伴い、鳥取県において災害対策本部が設置されたことを機に、広域連合では、同日22時50分に対策準備室を設置し、被害の状況等について情報収集を行いました。

現時点では広域連合への応援要請はありませんが、今後、被災県等から要請があれば、速やかに人的・物的対応を行います。

1 関西広域連合の体制

令和5年1月24日（火）22時50分 対策準備室設置

2 関西圏域の主な被害状況等（1月26日（水）8時30分時点）

- (1) 人的被害（三重県、京都市公表資料から集計）
負傷者：51人（三重県19、京都市32）
- (2) 住家被害
床下浸水：3棟（鳥取県3）
- (3) 避難指示の状況
発令なし
- (4) 道路の大雪による通行止め（1月25日（水）4時30分時点）
高速道路：28路線230区間
直轄国道：8路線17区間
補助国道：19路線20区間

■鳥取県での車両の滞留

国道373号にて、タンクローリーが側溝に脱輪したことをきっかけに渋滞が発生。上下線共に車両がお見合いをする形でトラック等約90台の滞留が発生したため、鳥取県が八頭郡智頭町に対し災害救助法を適用し、県と町が連携して、ドライバーの安否確認と水・食料の配布を実施。
→ 1月25日（水）未明に解消済み

■京都市でのJR乗客の滞留

JR西日本東海道線山科～高槻駅間において、ポイント故障により、最大で15本の駅間停車が発生。

- ・JR山科駅及びJR京都駅に市職員を派遣し、運休による影響を把握するとともに、列車や民設・公施設など一時的に滞在可能な場所を確保する調整をJR西日本と行い、鉄道の運休により影響を受けた人を収容
→ 一時的な滞在場所は解消済み
- ・立ち往生した列車内で発生した傷病者を救急搬送

【電車内及び駅周辺で滞留を余儀なくされた人の収容状況】

→ 1月25日（水）15時現在で全て解消済み

・JR京都駅

一時的な滞在場所	最大
	収容者数（単位：人）
列車内	約2,200
構内	約100
合計	約2,300

・JR山科駅

一時的な滞在場所	最大
	収容者数（単位：人）
列車内	約850
地下鉄山科駅の連絡通路	約250
アスニー山科 (山科区竹鼻竹ノ街道町92)	約200
ホテル山楽 (山科区安朱棧敷町23-23)	約30
阿弥陀寺 (山科区御陵天徳町19)	約50
その他 (徒歩による帰宅等)	約370
合計	約1,750

・JR西大路駅

一時的な滞在場所	最大
	収容者数（単位：人）
列車内	約1,200
コンコース	(若干名)
合計	約1,200

3 全国の鉄道の運行状況（1月25日（水）4時30分時点）※国土交通省HPより

<新幹線>

【運転を見合わせている路線】：1事業者1路線

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

<在来線>

【運転を見合わせている路線】：13事業者66路線

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：2事業者5路線

(参考) 構成団体等における災害対策本部の設置状況

【三重県】令和5年1月25日 4時57分 設置

→令和5年1月25日 21時00分 廃止

【鳥取県】令和5年1月24日 22時50分 設置

→令和5年1月25日 16時20分 廃止